

参考-15 計画の実施の参考資料

(活動支援の具体的な事例)

○八王子市では、「美しい八王子をつくる会」など町会・自治会を中心に活動する比較的大規模な団体や、個人的に地域活動をしている住民などにより、清掃活動や調査、環境学習などの様々な活動が行われています。このような団体・個人を発掘・登録し、活動に必要な用具の貸し出しや関連資料を提供して支援する「水辺の水護り制度」が、八王子市により設立されています。

図表 A. 56 活動支援の取組事例（八王子市水循環計画）



(出典:八王子市 HP <https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/001/001/004/p000138.html>)

(モニタリングの実施の具体的事例)

○京都市水共生プランでは、前年度実施した施策の進捗状況と今年度の実施計画を示した年次報告書（行動計画）を毎年作成し、関係者（事業者、団体、住民）と情報共有するためにホームページで公表しています。年に1回、実施内容と施策の進捗状況を公表することで関係者間の情報共有がなされ、より積極的な取組につながることが期待されます。

図表 A. 57 年次報告による情報共有（京都市水共生プラン）

基本方針1 流域全体を見据えた治水対策

基本方針1 流域全体を見据えた治水対策

浸水被害を軽減させるために、河川や下水道の整備だけでなく、森林や農地の適正な管理・保全等、行政の関係部門や市民等が協力して流域からの雨水の流出を抑制することや、浸水実績・想定区域の公表、水害に対する意識啓発などのソフト対策も組み合わせることにより、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策（流域治水）を推進します。

<目標>

■ 都市基盤河川改修事業 （目標年次：令和6年度）
流域内において概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対する
 $\left\{ \begin{array}{l} \text{浸水想定面積} \\ \text{浸水想定家屋数} \end{array} \right\}$ を令和元年度に比べて $\left\{ \begin{array}{l} 25.3\% \\ 37.9\% \end{array} \right\}$ 減少させる。

■ 下水道事業 （目標年次：令和4年度）
10年確率降雨に対する雨水整備率 33%

| | |
|---------|-------|
| 令和3年度実績 | 33.0% |
| 令和4年度予定 | 33.0% |

進捗状況と実施計画の併記

（出典：京都市水共生プラン行動指針[R4 年度版] <http://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000109305.html>）